

平成30年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月13日

上場会社名 株式会社エム・エイチ・グループ 上場取引所 東  
 コード番号 9439 URL http://mhgroup.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役兼執行役員社長 (氏名)朱峰 玲子  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役兼執行役員管理本部長 (氏名)家島 広行 (TEL)03(5411)7222  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	535	13.7	△7	-	△7	-	△9	-
29年6月期第1四半期	470	7.3	△2	-	△2	-	△5	-

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 △9百万円 (-%) 29年6月期第1四半期 △4百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	△0.87	-
29年6月期第1四半期	△0.48	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年6月期第1四半期	1,395	576	41.3
29年6月期	1,363	586	43.0

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 576百万円 29年6月期 586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	-	-	-	-	-
30年6月期	-	-	-	-	-
30年6月期(予想)	-	-	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成30年6月期の期末配当につきましては、現時点で未定であります。

3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	970	2.6	12	222.7	12	-	5	-	0.44
通期	2,000	7.4	38	-	37	-	20	-	1.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年6月期1Q	11,332,100株	29年6月期	11,332,100株
② 期末自己株式数	48株	29年6月期	48株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	11,332,052株	29年6月期1Q	11,332,052株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績の見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報、及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境、企業収益に改善傾向が見られ、緩やかな回復基調にあるものの、米国や欧州の政治情勢の不安定さや地政学的な不安の高まりなど、不確実性が増しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する美容業界におきましても、先行きの不安感などに起因する顧客の節約志向は少なからず影響を及ぼしており、それは来店周期の長期化、低価格サロンの増加による店舗間競争の激化等を招いております。また、美容業界はオーバーストア状態にあるなかで美容専門学校生は減少傾向にあり人材確保が業界全体の課題であり、経営環境は厳しい状況にあります。しかしながら一方では、男性顧客の美容室の利用率の増加、アジアをはじめとする海外での日本の美容サービス・商品に対するニーズは高まっております。そして近年髪に悩みを抱える顧客は増加傾向にあり、その期待に応えることができる信頼と専門性を備えたサロンの需要は増加することが見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、安易な安売り競争に走ることなく、従来通り教育により高い技術を有するスタッフを育成し、質の高いサービスを提供し続けることに重点を置いております。選別消費の傾向が強まるなか、当社がターゲットとする顧客層においては、ヘアケアサービス、ホームケア製品やヘアデザインの再現性を高めるスタイリング製品の購入件数増加など客単価は着実に上昇しております。しかし今後収益性を高める上では、リピート回数を増やし顧客として定着する割合を向上させなければなりません。こちらは、従前よりSPC（サービス・プロフィット・チェーン）のフレームワークに基づき、従業員満足度と顧客満足度を同時に高めることにより店舗の収益力を更に向上させるプログラムに取り組んでおり、今後もこれを継続してまいります。そして近年当社グループの新たな取り組みであるメンズ専門ヘアサロンは、既存のモッズ・ヘアサロンに比べ客単価は低いものの新たな顧客層の獲得につながっております。このメンズ専門ヘアサロンは直営サロン・BSサロンを問わず需要が高まることが見込まれます。また、業界全体においては美容師の人材不足により大型サロンを維持できず閉店するサロンや後継者不在のため閉店するサロンが増加しております。これは当社のBSサロンにおいても例外ではありません。当社グループのBSサロン運営事業においては、業界を取り巻く環境を見極め戦略的な新規出店を実現することが重要な課題であります。また、前連結会計年度よりモッズ・ヘアサロン運営事業の再建に注力しており、徐々にではありますが直営サロン運営事業において効果が表れております。他方、既存コンテンツの強化としてWEB通販における販路の拡大を図っております。現時点においては広告宣伝費等のコストが先行して発生しているものの着実に売上を積み上げております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高535,462千円（前年同期比13.7%増）、営業損失7,790千円（前年同期は営業損失2,946千円）、経常損失7,884千円（前年同期は経常損失2,627千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失9,826千円（前年同期は親会社に帰属する四半期純損失5,464千円）となりました。

セグメント別の状況については以下のとおりであります。

#### （直営サロン運営事業）

日本全国に展開するBSサロン（フランチャイズサロン）のフラッグシップサロンとして、首都圏主要地域を中心に直営サロン15店舗（モッズ・ヘアサロン14店舗、その他1店舗）を展開しております。当第1四半期連結会計期間におきまして、モッズ・ヘア自由が丘店を閉店いたしました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、不採算店舗であったモッズ・ヘア自由が丘店を閉店したこと等により徐々にではありますが収益性の改善が表れております。

直営サロン運営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は294,310千円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益は786千円（前年同期は、セグメント損失13,222千円）となりました。

#### （BSサロン運営事業）

「モッズ・ヘア」では、本部、加盟店という従来のフランチャイズ関係ではなく、共に一つのブランドをシェアするという意味で、ブランドシェアサロン、BSサロンと呼んでおります。当第1四半期連結会計期間において、海外におきましては、韓国ではオープン1店舗、閉店1店舗、中国では4店舗をオープンいたしました。その結果、当第1四半期連結会計期間末日現在におきまして、国内52店舗、韓国23店舗、台湾3店舗及び中国18店舗の計96店舗となっております。

また、当第1四半期連結累計期間より既存コンテンツの強化としてWEB通販における販路の拡大を図っております。現時点においては広告宣伝費等のコストが先行して発生しているものの着実に売上を積み上げております。

B Sサロン運営事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は162,593千円（前年同期比36.2%増）、セグメント利益は41,626千円（前年同期比19.5%減）となりました。

（ヘアメイク事業）

当社は、「モッズ・ヘア」の原点であるフランス・パリのスタジオワーク専門のヘアメイクチームのプロフェッショナル精神を引き継いだ「モッズ・ヘア」ヘアメイクチームを有しております。

当社のヘアメイクチームは、ヘアメイクアーティストのエージェンシーとして「パリコレクション」や「東京コレクション」などへの参加や、CM・ファッション雑誌など年間2,000件を超える媒体を手掛けるなど、国内及び海外で高い評価を得ております。

ヘアメイク事業におきましては、スタジオ部門は好調に推移したものの、ブライダル部門及びメディア部門における季節変動あるいは一時的な外的要因による減収を補うには至らず、当第1四半期連結累計期間の売上高は89,164千円（前年同期比2.6%減）、セグメント利益は4,117千円（前年同期比55.3%減）となりました。

（美容室支援事業）

当社グループでは、日本国内でのモッズ・ヘアサロンの事業展開を通じて、様々なスケールメリットが創出されます。それをサービス化したクレジット手数料軽減サービス、株式会社ティビィシー・スキヤットとの提携による美容サロン向けPOSレジ顧客管理システムなどを一般のサロンに提供する美容室支援事業を行っております。

美容室支援事業の主力であるクレジット手数料軽減サービスの契約件数、取扱高は堅調に推移しておりますが、営業体制の強化等に係る費用が先行して発生したため、当第1四半期連結累計期間の売上高は16,596千円（前年同期比6.6%減）、セグメント利益は4,489千円（前年同期比38.7%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ32,349千円増加し、1,395,915千円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の減少25,006千円、売掛金の増加23,945千円、未収入金の増加15,269千円、その他流動資産の増加37,873千円及び有形固定資産の減少8,121千円などによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ42,217千円増加し、819,460千円となりました。主な要因としましては、買掛金の増加6,429千円、未払金の増加34,075千円、未払消費税等の増加6,171千円、社債の減少7,000千円などによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ9,867千円減少し、576,454千円となりました。主な要因としましては、親会社株主に帰属する四半期純損失9,826千円などによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成29年8月18日付「平成29年6月期 決算短信」にて公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	228,311	203,305
受取手形	408	-
売掛金	122,554	146,499
商品	81,170	78,694
未収入金	338,230	353,500
その他	52,477	90,350
貸倒引当金	△3,737	△3,737
流動資産合計	819,415	868,612
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	333,402	335,300
減価償却累計額	△208,813	△213,356
建物及び構築物(純額)	124,588	121,943
工具、器具及び備品	85,617	79,808
減価償却累計額	△43,060	△42,727
工具、器具及び備品(純額)	42,556	37,080
その他	540	540
減価償却累計額	△403	△403
その他(純額)	137	137
有形固定資産合計	167,282	159,160
無形固定資産		
のれん	117,336	113,387
その他	2,816	2,732
無形固定資産合計	120,152	116,119
投資その他の資産		
投資有価証券	5,306	5,266
長期貸付金	65,698	65,698
関係会社株式	9,438	9,438
差入保証金	167,423	166,717
リース投資資産	50,903	48,015
その他	21,660	20,693
貸倒引当金	△66,198	△66,198
投資その他の資産合計	254,231	249,631
固定資産合計	541,666	524,912
繰延資産		
社債発行費	2,483	2,390
繰延資産合計	2,483	2,390
資産合計	1,363,565	1,395,915

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	12,404	18,834
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
未払金	442,446	476,521
未払費用	34,747	34,009
未払法人税等	8,259	2,542
未払消費税等	15,666	21,837
ポイント引当金	3,499	3,499
賞与引当金	1,837	990
その他	25,414	33,633
流動負債合計	558,274	605,869
固定負債		
社債	86,000	79,000
長期末払金	33,752	33,752
受入保証金	74,819	75,819
資産除去債務	11,714	11,723
退職給付に係る負債	7,483	7,696
役員退職慰労引当金	5,200	5,600
固定負債合計	218,968	213,591
負債合計	777,243	819,460
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	129,496	129,496
利益剰余金	△43,401	△53,228
自己株式	△13	△13
株主資本合計	586,081	576,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240	200
その他の包括利益累計額合計	240	200
純資産合計	586,322	576,454
負債純資産合計	1,363,565	1,395,915

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	470,882	535,462
売上原価	346,044	373,053
売上総利益	124,838	162,409
販売費及び一般管理費	127,785	170,199
営業損失(△)	△2,946	△7,790
営業外収益		
受取利息	47	4
為替差益	30	50
その他	377	36
営業外収益合計	455	91
営業外費用		
支払利息	132	-
社債発行費償却	-	92
社債利息	-	93
その他	3	-
営業外費用合計	135	185
経常損失(△)	△2,627	△7,884
税金等調整前四半期純損失(△)	△2,627	△7,884
法人税、住民税及び事業税	2,837	1,942
法人税等合計	2,837	1,942
四半期純損失(△)	△5,464	△9,826
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,464	△9,826



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
四半期純損失(△)	△5,464	△9,826
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	470	△40
その他の包括利益合計	470	△40
四半期包括利益	△4,994	△9,866
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,994	△9,866
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	274,444	119,338	91,553	17,771	503,108	△32,225	470,882
セグメント利益 又は損失	△13,222	51,712	9,204	7,325	55,019	△57,966	△2,946

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△57,966千円には、棚卸資産の調整額269千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,235千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年7月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	直営サロン 運営事業	B Sサロン 運営事業	ヘアメイク 事業	美容室支援 事業	計		
売上高	294,310	162,593	89,164	16,596	562,664	△27,201	535,462
セグメント利益	786	41,626	4,117	4,489	51,020	△58,810	△7,790

(注) 1. セグメント利益の調整額△58,810千円には、棚卸資産の調整額89千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△58,899千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。